

## 令和3年度 長野県中野西高等学校入学式 式辞

令和3年（2021年）4月6日

北信濃 中野の地にも桜の花が咲き誇りいつもより早い春の季節が巡ってきました。

このすべての命輝く春の佳き日に、保護者の皆様のご出席を賜り、令和三年度長野県中野西高等学校入学式を挙行できますこと、誠にありがたく、厚く御礼を申し上げます。コロナ禍ゆえ、感染予防のため、通常とは異なり、時間や内容を大きく変えざるをえなかったことをお詫びいたします。

ただいま入学を許可いたしました、全日制普通科164名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは人生の中で避けて通ることの出来ない試練の一つをみごとに乗り越え、中野西高等学校の38期生となりました。ようこそ、中野西高等学校へ。心から歓迎します。

本校は、地域の熱い期待のもと、生徒急増期の新設校として昭和59年に開校しました。本校の校歌の作詞者は23歳で芥川賞を受賞した丸山健二氏であり、丸山氏はイヌワシをモチーフに、「イヌワシのように誇り高く、自主性のある力強い人間になってほしい」という強い願いを込めて、「イヌワシの歌」と名付けられました。校歌の作曲者はジブリ作品で有名かつ現在大活躍の「久石譲」こと藤澤守氏です。

新進気鋭の方々によって本校の立ち上げが支えられ、本校は常に新しいチャレンジを試みてまいりました。開校当時から続くゴミを集めながら、より多くのポイントとそこに設定された問題を解くことを競うクリーンオリエンテーリングという学校行事もその一つです。

そして、平成27年には県内高校初のユネスコスクールに認定されました。ユネスコスクールとはユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、「持続可能な開発のための教育(ESD)」の拠点となる学校です。このESD活動は地球的課題を自分事としてとらえ、自分のできることから探究することにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を創造する活動であり、持続可能な社会の担い手を育む活動です。

さらに、国のGIGAスクール構想により、小中学校では一人1台タブレットが整備され、新たな学びが始まりました。デジタル化が進む中で、中学校でできた学びを継続できるように、本校では今年度の新入生からiPad導入を決め、従来の学習の上に皆さんの新たな可能性をひろげるために、学習のツール（道具）として活用するチャレンジを始めてまいります。

現代は少子高齢化の進行、グローバル化の進展、AI（人工知能）などの技術革新により、社会構造や雇用環境が急速に変化しており、先の見通せない時代となっています。また、インターネットの普及はいろいろな情報を容易に入手でき、一人ひとりの価値観が多様な時代となりました。

そんな状況の中で一つの明確な答えである「絶対解」を導き出すことが困難になってきました。たとえば、世界を苦しめている新型コロナウイルス感染症への対応策はまさに正解が一つとはいえ、複数存在するかもしれない、場合によっては正解なんて無いかもしれません。そんな問題の解決には多くの人々が納得できるような答えである「納得解」を生み出すことが求められているのです。様々な課題を常に自分で考え、判断し行動する実践力をユネス

コスクールである本校で学んでほしいと思います。

そのためには、日々の授業をまず大切に、基礎・基本をしっかり身につけてください。クラスやクラブ、生徒会、ESD活動などに積極的に取り組んで、仲間と協働し、コミュニケーションをとりながら人間関係を広げてください。いろいろな体験をすることが、先の見通せないこれからの時代に立ち向かう経験となり、生きる勇気を与えてくれるでしょう。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで陰になり日向になって育てて来られたお子様が、義務教育を終えて晴れの高校入学を迎え、感慨もひとしおかと拝察いたします。お子様が、本校での様々な活動を通じて、自ら人生を切り拓いてゆく力を身に付けられますよう、私ども教職員一同、全力を尽くしてまいりますので、何とぞ本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますとともに、よりよい学校を共に創るパートナーとして手を携えてくださいますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんのこれから始まる高校生活が、輝ける未来に向けた希望を育むものであることを願い、イヌワシが翔ぶが如く成長できることを期待して、式辞といたします。

令和3年4月6日

長野県中野西高等学校長 宮原 弘匡